

意見交換会実施報告書（案）

開催日時	25年2月16日 9時30分 ～ 11時30分	
開催場所	大町公民館分室	
依頼者	大町市を愛する女性の会 会長 松澤郁子	
参加者	大町市を愛する女性の会会員 7名	
出席議員	大厩 富義（責任者） 竹村 武人 中牧 盛登 眞嶋 強志（記録者） 二條 孝夫	
議会報告内容	(1) 議員定数等検討委員会について (2) 防災対策特別委員会答申について (3) 安心できる介護保険制度の実現を求める意見等について (4) その他、派生する生活課題について	
意見交換内容 (要望提言等)	質問・要望・意見等	
	1	議員定数等について積極的に検討されていることは評価したい。国で推進しているクォータ制（割当制度）について、定数等検討委員会では、議会への導入について検討されているか。
	2	防災行政無線の放送が聞こえにくい。また、火災発生などの緊急放送をする場合、発生した場所など具体的な放送はできないか。（知人、親戚がいるかもしれないので。）
	3	災害時の避難場所や避難所への移動手段等について、高齢者、障がい者、妊婦などの声を把握し、再考すべきではないか。
	4	ダムの安全性について数値的な根拠などを行政から聞くことができないのはなぜか。
		当日の回答
		定数等検討委員会での検討はまだされていないが、男女共同参画の推進はもっともなことである。ただクォータ制（割当制度）は選挙人からみてもなじまないのではないか。老若男女、様々な階層からの議員構成が理想と思われる。
		場所、家屋の構造、天候などにより聞こえにくい場合があるのは事実。必要に応じ個別受信機の購入も検討し対応して欲しい。緊急放送は内容の詳細を伝えるより、できる限り早く伝えることが重要ではないか。また、プライバシーへの配慮などもある。
		現在、市議会防災対策特別委員会で、災害時における議会としての支援体制や市の防災対策について調査研究している。今後も避難所のあり方なども含めて検討していきたい。
		一般質問でも取り上げたり、国の関係機関等に問い合わせているが、ダムの耐震や決壊時のシミュレーションなどについて明確な答えを示さないのが現状である。

5	<p>介護保険制度の改善についての意見書を国へ送付したことはありがたい。</p> <p>今後も、現場の視点に立って、国等へ働き掛けていって欲しい。</p>	<p>高齢者福祉の課題等については、社会厚生委員会において、勉強会を実施したり、介護施設へ現地視察に行ったりしながら勉強をしてくれている。現場の意見を大切にしながら、議会としてもできる事を行っていききたい。</p>
6	<p>施設入所の待機者は依然多い状況である。家庭で介護する者にとっては、異性介護の問題など様々な問題があり、大きな負担となっている。</p>	<p>行政も介護の実態は理解しており、今後も計画的に介護施設の増床を予定している。</p> <p>依然として待機者は減少していないが、介護保険料とのバランスもありすぐに施設を増やせるわけではない。</p>
7	<p>施設に入所できない者にとって、行政サービスや、家族の介護だけでは限界がくる場合がある。</p> <p>終末期ホスピス病棟の設置や24時間対応が可能な民間の施設ができるよう望む。</p>	<p>医療と介護が線引きされている部分もあるが、いただいたご意見を参考にして、民間企業の参入の可能性や、医療福祉の連携等に目を向けながら、今後の議会活動に取り組んでいきたい。</p>
8	<p>定住促進について、議論が交わされているが、30代、40代ばかりにターゲットを絞ることは年配者にとって抵抗感がある。現在住んでいる人、新規移住者どちらにも配慮した定住促進策を望む。</p>	<p>新聞報道等では、定住促進ビジョンのメインターゲットとして取り上げているが、計画では市民全体を網羅した内容である。</p>
9	<p>市職OBの天下りの実態はいかがか。その職場を若い方の働く場として考えてほしい。</p>	<p>職種や条件等があると思うが、実態を十分把握してないので、ご意見として承る。</p>
10	<p>北陸新幹線延伸に対して、市の観光振興に対する姿勢が少し弱いのではないか。</p>	<p>北陸新幹線の金沢延伸は、観光誘客等を考えると当市にとっても大きなチャンスである。観光立市を標榜しているが、行政の取組みだけでは限界もあるので、地域経済が潤うような民間の力、地域の支援が大切と思う。</p>

	11	上原の湯の指定管理について、どのようにして指定管理者が決定されたのか。また、今後も清潔な施設を望むので、維持管理についてチェックして欲しい。	指定管理者は、応募者の中から選定委員会による審査などの手続きを経て候補者とされ、議会の議決で決定となる。今回の指定管理者の指定については、議会での慎重かつ十分な審議の結果である。今後も施設の運営や管理等についてチェックしていきたい。
	12	新しい女性のリーダーが出てこない。養成講座を設けるなど、女性リーダーが出てくる環境づくりの支援をして欲しい。	地域の中でも女性が活躍いただく場も徐々になくなってきた。あらゆる機会をとらえ、女性が関わりやすい環境づくりが大切と考える。
その他 特記事項			

平成25年4月22日

政策調整委員会委員長 様

上記意見交換会責任者 大厩 富義 ⑩